

令和3年2月22日

那珂市長 先崎 光 様

那珂インターチェンジ周辺を核とした
活力あふれるまちづくり検討委員会

委員長 川 島 佑 介

当委員会は、那珂インターチェンジ周辺地域の開発の方向性について、市民や有識者の目線で検討いたしまして、下記のとおり、当委員会としての「まちづくりの方針」を取りまとめましたので、答申いたします。

1 当該地域のまちづくりについて

- ・広報なかアンケートでは、「那珂インターチェンジ周辺地域でまちづくりを進めるべき。」との回答は8割を超えており、インターチェンジがある好立地条件を最大限に活かして、地域振興に寄与する開発を進めるべきと考えます。

2 必要な機能について

- ・市の魅力発信や産業活性化、市民交流等の機能を有するとともに、県北地域への玄関口としての役割を果たす施設として、「道の駅」を核とした施設整備が最適であると考えます。
- ・当該地域における開発手法としても、法規制や時間的制約に縛られない市による個別開発が最適であると考えます。
- ・「道の駅」の具体的内容は多様であるため、早い段階で、コンセプトやメインターゲットを明確化する必要があると考えます。

3 長期的な視点について

- ・まずは「道の駅」を核とした施設整備を進めることで良いと考えますが、周辺施設との連携にも十分に注意を払い、当該地域全体を見据えた一体的なまちづくりが必要であると考えます。その際には、民間誘導も含めた多様な手段が検討されるべきと考えます。